

香川県を拠点に活動するアーティストは、どのような思いでこの地で創作活動をしているのでしょうか。また、活動が続いていくためには、どのようなことがメリットとしてあり、どのような課題が残っているのでしょうか。

今回は、香川で現代アートに関わっているアーティストの方々（後藤健吉、orm「藤井智也、高橋ちかや」、柴田早穂）をゲストにお招きし、ざっくばらんに対話できる場を設けます。



柴田早穂



後藤健吉



orm
藤井智也、高橋ちかや

2026 3/21(土)
13:30～15:00

無料
申込不要

会場：高松市美術館 1 階
エントランスホール

定員：先着 50 人 (申込不要)
※会場に直接お越しください。

主催：高松市美術館

ゲスト

- 後藤健吉 (漆芸家、「思可牟」代表)
- orm 藤井智也、高橋ちかや (美術家、ギャラリー Syndicate 運営)
- 柴田早穂 (鋳金作家)

聞き手 | 原 久子 (当館アートアドバイザー)

香川で 創作を 続けること

アートアドバイザー講座

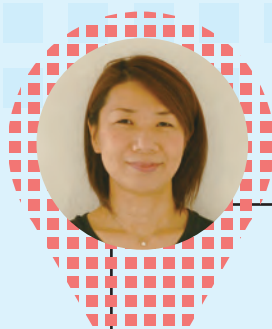
vol. 13



高松市美術館
TAKAMATSU ART MUSEUM

〒760-0027

香川県高松市紺屋町10-4
TEL: 087-823-1711



アートアドバイザー
原 久子

京都市生まれ。90年代よりアーティスト・イン・レジデンス、アートスペースの調査研究、アートプロジェクトの企画・運営、雑誌・新聞等への執筆、編集、コンサルティングなどに携わる。大阪電気通信大学総合情報学部教授。高松市創造都市推進審議会委員。2023年度より当館アートアドバイザーを務める。